

わ

く

し

こ

こ

と

その嘘は、
罪か、
愛か

認知症の父
記憶喪失の少年
そして
過去に傷を抱える女がつづる
心揺さぶる
ヒューマン・ミステリー

杏

中須翔真 佐津川愛美 酒向 芳
木竜麻生 和田聰宏 丸山智己 河井青葉
安藤政信 / 奥田瑛二

脚本・監督：関根光才

原作：北園浩二「嘘」（PHP文芸文庫刊）音楽：Aska Matsumiya

主題歌：羊文学「fears」F.C.L.S.(Sony Music Labels Inc.)

製作幹事：メーテレ ホリプロ 企画・制作：ホリプロ

配給：ハピネットファントム・スタジオ ©2024「か(しごと)」製作委員会

©2024 文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

6.7 Fri

「あなたは、私の子供なの」

ひとつの嘘から、運命の歯車が動き出す――



絵本作家の千紗子(杏)は、長年絶縁状態にあった父・孝蔵(奥田瑛二)の認知症の介護のため、渋々田舎に戻る。他人のような父親との同居に辟易する日々を送っていたある日、事故で記憶を失ってしまった少年(中須翔真)を助けた千紗子は彼の身体に虐待の痕を見つける。少年を守るため、千紗子は自分が母親だと嘘をつき、一緒に暮らし始めるのだった。次第に心を通わせ、新しい家族のかたちを育てていく三人。しかし、その幸せな生活は長くは続かなかった――。



許されないとわかっていても、

なぜ彼女は嘘をついてまで少年を守ろうとしたのか。

そして、このひとつの嘘から明かされていく、それぞれのかくしごととは――

『生きてるだけで、愛。』(18)で鮮烈な長編監督デビューを飾った映像クリエイター、関根光才の待望の長編第二作目となったのは、杏を主演に迎えた、子を守る母親の強烈な愛と嘘の物語。原作は「ミステリー作家が描く感動小説」として評価も高い、北國浩二の「嘘」。主人公・千紗子役に、ドラマ、映画、モデルと幅広く活躍する俳優、杏。「今の自分だからこそ演じることができる」と、その深い母性を芝居を超えて体現し、鮮やかに観る者の心に焼き付ける。父・孝蔵役には、名優、奥田瑛二。認知症を患い、娘のことすら忘れ、日に日に別人のように衰えてゆく姿を、静かながら胸に迫る演技で圧倒する。少年役に中須翔真、さらに佐津川愛美、酒向芳、安藤政信といった実力派俳優が脇を固める。主題歌は、TVアニメ『呪術廻戦』『渋谷事変』のエンディングテーマも話題になったオルタナティブ・ロックバンド羊文学の「tears」。持ち前の繊細な歌声が、本作の鑑賞後の心に柔らかな余韻を残す。人の目も社会も関係なく、子への揺るがない愛を貫き通す千紗子の深く激しい母性をあなたは受け入れることができるか――。心揺さぶるヒューマン・ミステリーが誕生した。

杏 中須翔真 佐津川愛美 酒向芳 木竜麻生 和田聰宏 丸山智己 河井青葉 / 安藤政信 奥田瑛二

脚本・監督：関根光才 原作：北國浩二「嘘」(PHP文芸文庫刊) 音楽：Aska Matsumiya 主題歌：羊文学「tears」F.C.L.S. (Sony Music Labels Inc.)

エグゼクティブプロデューサー：松岡雄浩 津嶋敬介 小西啓介 企画・プロデュース：河野美晃 プロデューサー：阪部保彦 石川真音 櫻田悦平 アソシエイトプロデューサー：曾木真代

撮影：上野千蔵 照明：西田まさお 録音：西條博介 美術：宮守由衣 装飾：野村智也 衣裳：立花文力 ヘアメイク：柳須野莉 編集：本田吉孝 音響効果：渋谷圭介

助監督：亀谷英司 制作担当：入江広明 ラインプロデューサー：渡辺修

製作：メーテレ ホリプロ ハビネットファントム・スタジオ ゼニー・キネマシオン トーハン ZENA STYLE グラスゴー15 企画・制作：ホリプロ 配給：ハビネットファントム・スタジオ

©2024「かくしごと」製作委員会

文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動助成事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 2024年/日本/カラー/ヨロビアンビスタ/5.1ch/128bit/G happinet-phantom.com/kakushigoto X:@kakushigotofilm

ラスト、彼女が知る真実に、あなたもきっと涙する。

6.7 Fri ROADSHOW